

ボーナスが出た今だから考えたい

中高年に 使いやすい 少額短期保険

少額短期保険とは

06年にスタートした新しい形態の保険会社・保険期間が1〜2年と短く(自動車新案〇〇)、保険金額も小口・別名「ミニ保険」ともいわれる。

既存の保険会社のように大勢の社員や立派なビルは持たず、派手な宣伝をしないため保険料も割安、生命保険と損害保険の両方の分野の保険が可能なこと、ユニークな商品も多い。



・待望のボーナスも出たし、パアッと使いたい！
・サラリーマンの中にはそう考える人も多いだろう。気持ちわかるが、ちょっと待って欲しい。アベノミクスだ、なんだといっても、儲かっているのは大企業のみ。将来、従業員に回ってくるかは期待薄だ。ならば、こころを強く将来への備えに使うてみてはどうだろうか。

ベル少額短期保険 葬儀保険「千の風」

葬 式代は自分たちで大変。自宅購入で準備しないと資金が足りない、と繰り返して思えるのを大変だ……。
定年後3年目に入った加藤秀忠さん(仮名)の妻の芳江さん(仮名)は内心そう思っていた。口には言わなかったが、お金の援助が欲しい、という態度がミエミエ。
珍しく小学生の孫を連ね、動けるうちに老夫夫婦二人で過ごし、後は長男夫婦にまかせよう、と話し合っていたが、このままだと、かまどの灰まで

葬儀費用で 子供に迷惑を かけたくない！

「終活セミナー」で、そこで待ち受けていたのは、葬儀の厳しい現実だった。「葬儀は身内だけの家族だけでいいから、費用も大してかからないだろう」と思っていたのですが、葬儀社への支払いやお坊さんへのお布施や心付け、飲食費などで約200万円のお金がかかると初めて知りまし



「終活セミナー」で、そこで待ち受けていたのは、葬儀の厳しい現実だった。「葬儀は身内だけの家族だけでいいから、費用も大してかからないだろう」と思っていたのですが、葬儀社への支払いやお坊さんへのお布施や心付け、飲食費などで約200万円のお金がかかると初めて知りまし

「終活セミナー」で、そこで待ち受けていたのは、葬儀の厳しい現実だった。「葬儀は身内だけの家族だけでいいから、費用も大してかからないだろう」と思っていたのですが、葬儀社への支払いやお坊さんへのお布施や心付け、飲食費などで約200万円のお金がかかると初めて知りまし